

ICTを用いた地域観光政策の定性分析

— わが国の世界遺産を事例として —

横見宗樹

RCSS

文部科学省私立大学学術フロンティア推進拠点
関西大学ソシオネットワーク戦略研究センター

Research Center of Socionetwork Strategies,
The Institute of Economic and Political Studies,
Kansai University
Suita, Osaka 564-8680 Japan
URL : <http://www.rcss.kansai-u.ac.jp/>
<http://www.socionetwork.jp/>
e-mail : rcss@jm.kansai-u.ac.jp
tel. 06-6368-1177
fax. 06-6330-3304

ICTを用いた地域観光政策の定性分析

— わが国の世界遺産を事例として —

横 見 宗 樹

RCSS

文部科学省私立大学学術フロンティア推進拠点
関西大学ソシオネットワーク戦略研究センター

Research Center of Socionetwork Strategies,
The Institute of Economic and Political Studies,
Kansai University
Suita, Osaka 564-8680 Japan
URL : <http://www.rcss.kansai-u.ac.jp/>
<http://www.socionetwork.jp/>
e-mail : rcss@jm.kansai-u.ac.jp
tel. 06-6368-1177
fax. 06-6330-3304

ICT を用いた地域観光政策の定性分析◆ －わが国の世界遺産を事例として－

横見宗樹*

要 約

本稿は、特定非営利活動法人「白神ねっと」を主体とする受託研究の研究成果の一部である。本稿の目的は、2 種類のアンケート調査（郵送と web）の結果にもとづき、地域コミュニティサイトに世界遺産をはじめとする観光情報を掲載することの有効性について検討するものである。

本稿で主な分析対象とする秋田県の能代山本地区では、その北側に白神山地を望むことができる。この白神山地は 1993 年に世界遺産に登録されたことで、にわかに全国的な注目を集めることとなった。しかしながら、本稿の web アンケート調査では、秋田・青森両県と、その他の都道府県では、白神山地の知名度に大きな格差のあることが明らかとなった。

近年では、観光による地域振興に注目する地方自治体が増えている。とりわけ世界遺産に登録されている観光資源は潜在的な知名度を有するため、効果的な手法による情報発信さえ実施されれば、地域振興に大きく貢献することが予想される。

そこで、本稿では、全国の世界遺産の知名度と魅力度について地元居住者と他の都道府県居住者の間に差異があることを明らかにしたのち、その差異を埋めるための情報発信ツールとして ICT が有用であるとしたうえで、地域の情報を収集した web サイト「地域コミュニティサイト」による観光情報の発信が有効であることを示す。

キーワード：ICT、観光政策、地域振興、地域コミュニティサイト、世界遺産

◆本研究は、特定非営利活動法人白神ねっと（秋田県能代市）を主体とする受託研究「平成 17 年度中小商業ビジネスモデル連携支援事業－世界遺産地域ブランドの市場化調査分析事業と地域コミュニティサイトのコンセプト開発の助成－」（受託契約期間：平成 17 年 6 月～平成 18 年 2 月）における研究成果の一部である。なお、本稿で述べられている見解は、全て執筆者本人の見解であり、「白神ねっと」その他の見解を示すものではない。

* 関西大学ソシオネットワーク戦略研究センター（RCSS）ポストドクトラルフェロー

Qualitative Analysis of Regional Tourism Policy by Using ICT

— Case of World heritages in Japan —

By MUNEKI YOKOMI

Postdoctoral fellow, Research Center of Socionetwork Strategies, Kansai University

In this paper we examine an effectiveness of including some tourism information such as world heritage in “Local Community Website” by using two kind of questionnaire survey.

We focus Shirakami mountainous region, which is registered as a world heritage in 1993. However Our survey show that significant difference in its name value is existing between its local residence and the residence in outside.

Recently it seems that many local governments keep their eyes on an effectiveness of community development by tourism. Especially world heritage has great power of promoting its attractiveness. Therefore if we develop some effective methods of sending information, world heritage would contribute its local development.

Then first we make clear that there are some difference in the name value and attractiveness of all world heritages in Japan between their local and outside residences. The next we examine that the Local Community Website is effective in filling up such the difference.

Keyword: ICT, Tourism Policy, Community Development, Local Community Website, World heritage

1. はじめに

本稿は、特定非営利活動法人「白神ねっと」（秋田県能代市）を主体とする「平成 17 年度中小商業ビジネスモデル連携支援事業－世界遺産地域ブランドの市場化調査分析事業と地域コミュニティサイトのコンセプト開発の助成－」を基礎として、そこで筆者が実施したアンケート調査等に基づき、地域観光政策における ICT（情報通信技術）の有用性を明らかにすることを目的とするものである。

近年では、地域振興に対する観光の重要性に注目が集まっている。たとえば、河村（2004）によると、観光収入は「観光産業の発展ばかりでなく、国家あるいは社会レベルでの拡大再生産に寄与している」と指摘している¹⁾。その一方で、こうした地域振興のための観光政策は、情報発信という側面において十分なパフォーマンスが発揮されていないことが懸念される。つまり、観光に関する情報の送り手（行政機関や観光事業者など）と、それを必要とする受け手（観光者など）との間に情報の非対称性が存在し、それが観光者の観光行動に影響を与えているのではないかという仮説である。はじめに、この仮説を検証しよう。

2. 能代市の観光資源

白神ねっとの所在する秋田県の能代市（能代山本地域）は、日本海に面した人口約 5 万 2 千人の都市である。古くから木材産業が盛んであり、「木都能代」として一時代を築いてきた。しかしながら、安価な輸入材に押される形で 20 世紀後半には木材産業は衰退に転じている。

現在、地域の経済発展に資するほどの基幹産業のない能代市であるが、観光に目を転じてみると、これも集客力に優れた観光資源は非常に乏しい。たとえば、能代市の行祭事（2003 年）についてみると、「おなごりフェスティバル」（23 万人）、「七夕ねぶながし」（5 万人）、「観光七夕」（4 万人）などが挙げられる。しかしながら、東北四大祭りと呼ばれる秋田市の「竿灯まつり」（136 万人）と比較すれば、これらは非常に小規模なものと言わざるをえない²⁾。

そうしたなか、1993 年 12 月に能代市の北側に位置する白神山地がユネスコの世界自然遺産に登録された。白神山地は、鹿児島県の屋久島と北海道の知床とならんで、わが国で 3 ヶ所しかない世界自然遺産である。白神山地は秋田県北西部から青森県南西部に渡って広がる山地帯の総称であり、圧倒的な数のブナ林がほぼ原生のまま残されていることが評価されたことから、その区域のうち 1 万 6971 ヘクタールが世界自然遺産として登録されたのである。

能代市は、その市街地から白神山地の全景を見渡せるうえ、白神山地の秋田県側の登山口にも近い位置にある。昨今の世界遺産ブームにおいて、白神山地が世界遺産に登録されたことは、観光による地域振興を図るうえで絶好の機会である。白神山地を観光の起爆剤として周知していこうとする行政や地元の観光事業者の思惑は、どの程度に満たされているのであろうか。

そこで、本稿では日本の世界遺産を対象を絞り、web によるアンケート調査にもとづき白神山地をはじめとする世界遺産の知名度と魅力度について、まずは明らかにしていく。

1) 河村（2004），169 ページ。

2) 生活情報センター（2005），74～75 ページ。

3. 世界遺産に関するアンケート調査

はじめに、アンケート調査の概要について紹介する。2005年12月、白神山地を中心に日本の全ての世界遺産に対する知名度と魅力度を全国的に調査するため、「白神ねっと」ホームページ (<http://www.shirakami.or.jp/>) でwebアンケートを実施した。アンケートの掲載期間は90日で、534件を回収することができた。

アンケートでは、回収率を上げるために抽選による懸賞をつけ、また全国的な回答を得るためにYahoo!の懸賞サイト (<http://present.yahoo.co.jp/>) に登録した。アンケート票については、巻末付録Aを参照されたい。

3.1. 白神山地の知名度

図1と図2は、それぞれ白神山地が所在する青森県と秋田県の住民(サンプル数36)と、その他の地域の住民(サンプル数498)別に、白神山地の知名度を示したものである。

図1より、青森県と秋田県の住民の74%が、「世界遺産に登録される以前から白神山地の所在地も含めて良く知っていた」と回答している。しかしながら、図2によれば、青森県と秋田県以外の都道府県の住民にとっては、「世界遺産に登録される以前から白神山地の所在地も含めて良く知っていた」との回答比率は23%にすぎない。

くわえて、「このサイト(アンケートのwebサイト)を見るまで全くなにも知らなかった」との回答は、秋田県と青森県の住民では僅か6%であるのに対して、その他の都道府県の住民では26%にも達した。

これらの結果より、白神山地に関して、世界遺産であるという認識も含めて、地域住民とその他の地域の住民との間に顕著な知名度の差異のあることが明らかとなった。

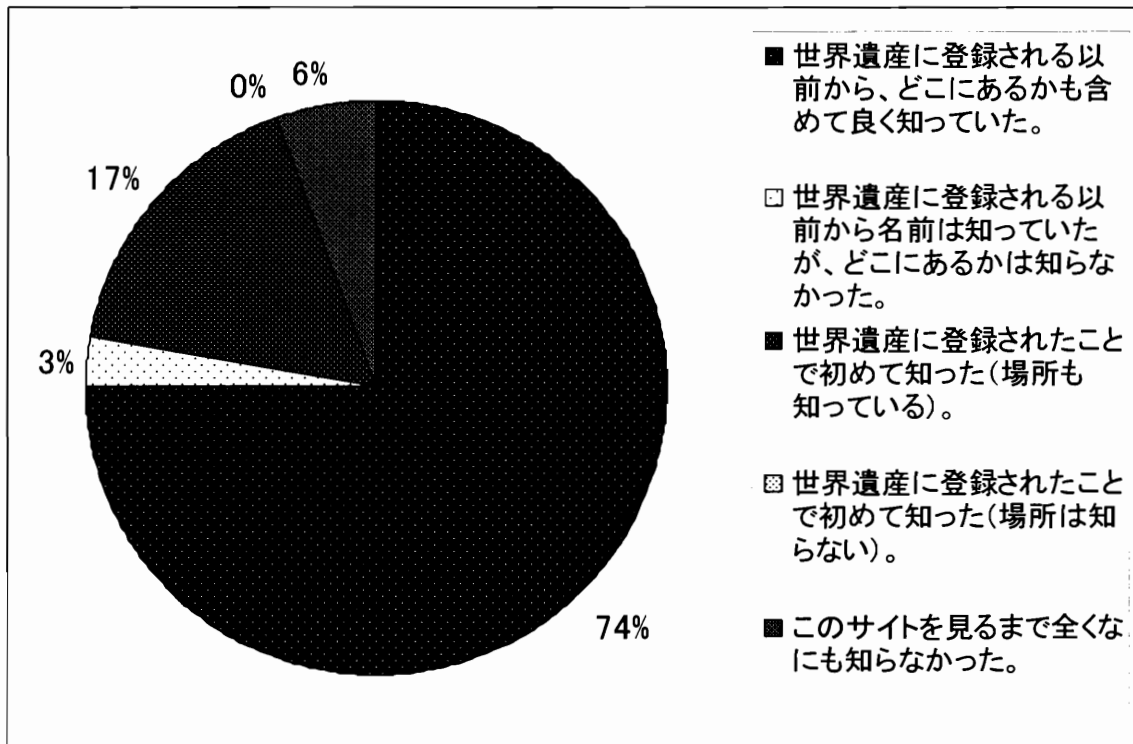


図1：白神山地の知名度(青森県と秋田県)

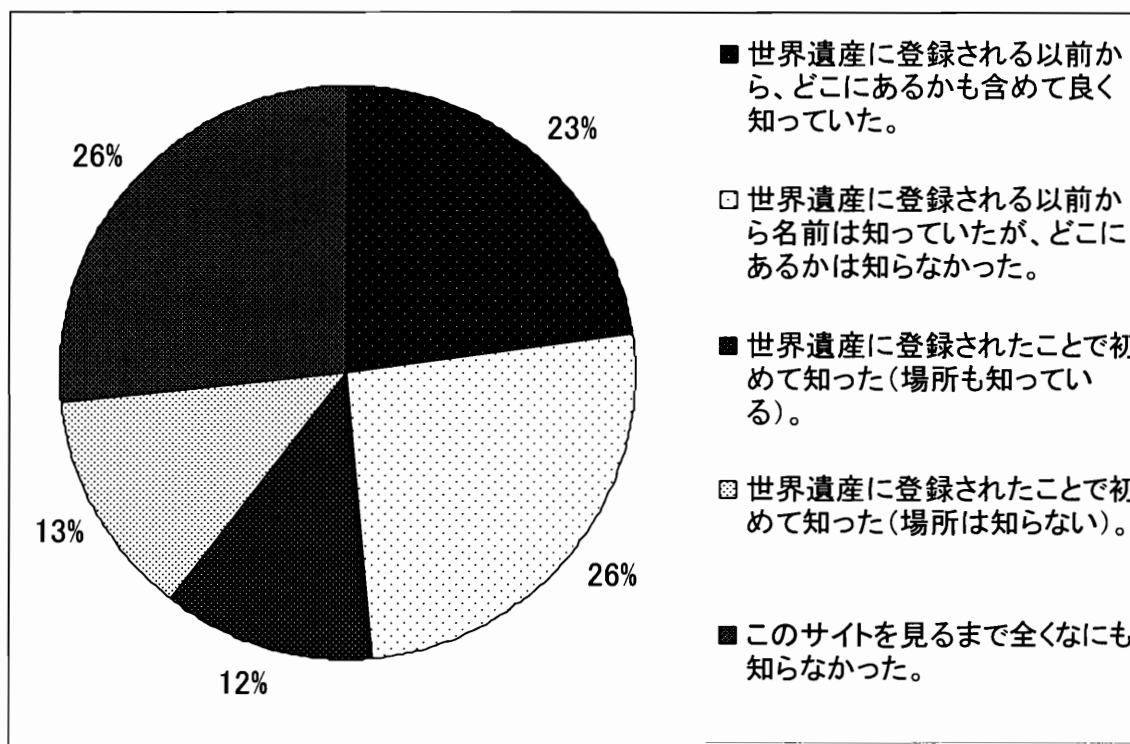


図 2：白神山地の知名度（その他の都道府県）

3.2. 日本の世界遺産の知名度と魅力度

つぎに、白神山地以外の世界遺産についても、地域住民とその他では、その知名度はどう異なるか、アンケート結果よりみていくこととする。

2006年2月現在、日本で登録されている世界遺産は全部で13ある。具体的にいうと、法隆寺地域の仏教建造物（奈良県）、姫路城（兵庫県）、屋久島（鹿児島県）、白神山地（青森県、秋田県）、古都京都の文化財（京都市、宇治市、大津市）、白川郷・五箇山の合掌造り集落（岐阜県、富山県）、原爆ドーム（広島県）、厳島神社（広島県）、古都奈良の文化財（奈良県）、日光の社寺（栃木県）、琉球王国のグスク及び関連遺産群（沖縄県）、紀伊山地の霊場と参詣道（和歌山県）、知床（北海道）である。

地域住民とみなす対象都道府県は、表1のとおりとした。地域住民とする対象を当該世界遺産の所在都道府県のみ限定しない理由は、それであると十分なサンプル数を確保できないからである。なお、屋久島と琉球王国のグスク及び関連遺産群は、サンプル数が極端に少ないため集計から除外することとした。

表1：地域住民とみなす対象都道府県

世界遺産	地域住民とする対象	サンプル数
法隆寺地域の仏教建造物(奈良県)	近畿2府4県(京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県)	99
姫路城(兵庫県)	兵庫県、岡山県	36
屋久島(鹿児島県)	サンプル数が少ないため集計から除外	—
古都京都の文化財(京都市、宇治市、大津市)	近畿2府4県(京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県)	99
白川郷・五箇山の合掌造り集落(岐阜県、富山県)	岐阜県、富山県	18
原爆ドーム(広島県)	中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)	21
厳島神社(広島県)	中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)	21
古都奈良の文化財(奈良県)	近畿2府4県(京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県)	99
日光の社寺(栃木県)	栃木県と隣接4県(群馬県、埼玉県、茨城県、福島県)	68
琉球王国のグスク及び関連遺産群(沖縄県)	サンプル数が少ないため集計から除外	—
紀伊山地の霊場と参詣道(和歌山県)	近畿2府4県(京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県)	99
知床(北海道)	北海道	22

各世界遺産の知名度に関して、地域住民とその他の住民における差異を示したのが図 3 である。この図は、当該世界遺産を「世界遺産だと知っている」と回答した割合を地域内住民と地域外住民の別に示したものである。全ての世界遺産において、地域内住民のほうが地域外住民よりも高い知名度を示していることが明らかとなった。その理由としては、地理的要因に起因するもの（つまり、地域外住民には遠い場所なのであまり知られていない）が大きいと考えられるであろう。

それでは、つぎに上記の世界遺産の魅力度を示してみよう。図 4 は、当該世界遺産について「機会があれば訪れてみたい」と回答した割合を地域内住民と地域外住民の別に示したものである。この図より、概して地域内住民のほうが「訪れてみたい」と思う割合が地域外住民に比べて低いことが明らかとなった。このことは、地域内住民は当該世界遺産を既に訪れたことがあるか、またはあまりに身近にあるため、魅力を感じていないことを表していると考えられるであろう。

一方で、「姫路城」、「日光の社寺」、「知床」に関しては、地域外住民のほうが地域内住民よりも「魅力的」に感じている割合が低いことが示されている。図 3 と照らし合わせると、これらの世界遺産にみられる特徴は、知名度において地域内と地域外の差異が他と比較して大きいことである。具体的には、「姫路城」は 25.5 ポイント、「日光の社寺」は 19.1 ポイント、「知床」は 18.0 ポイントの差である。

この理由として考えられるのは、「姫路城」、「日光の社寺」、「知床」では、地域外住民に対して、地理的要因に起因する知名度不足に加えて、観光地としての宣伝不足が影響しているように推測される。言い換えれば、これらの世界遺産は、他と比較して観光地としての魅力を全国的に十分に伝えきれていないものと考えられる。

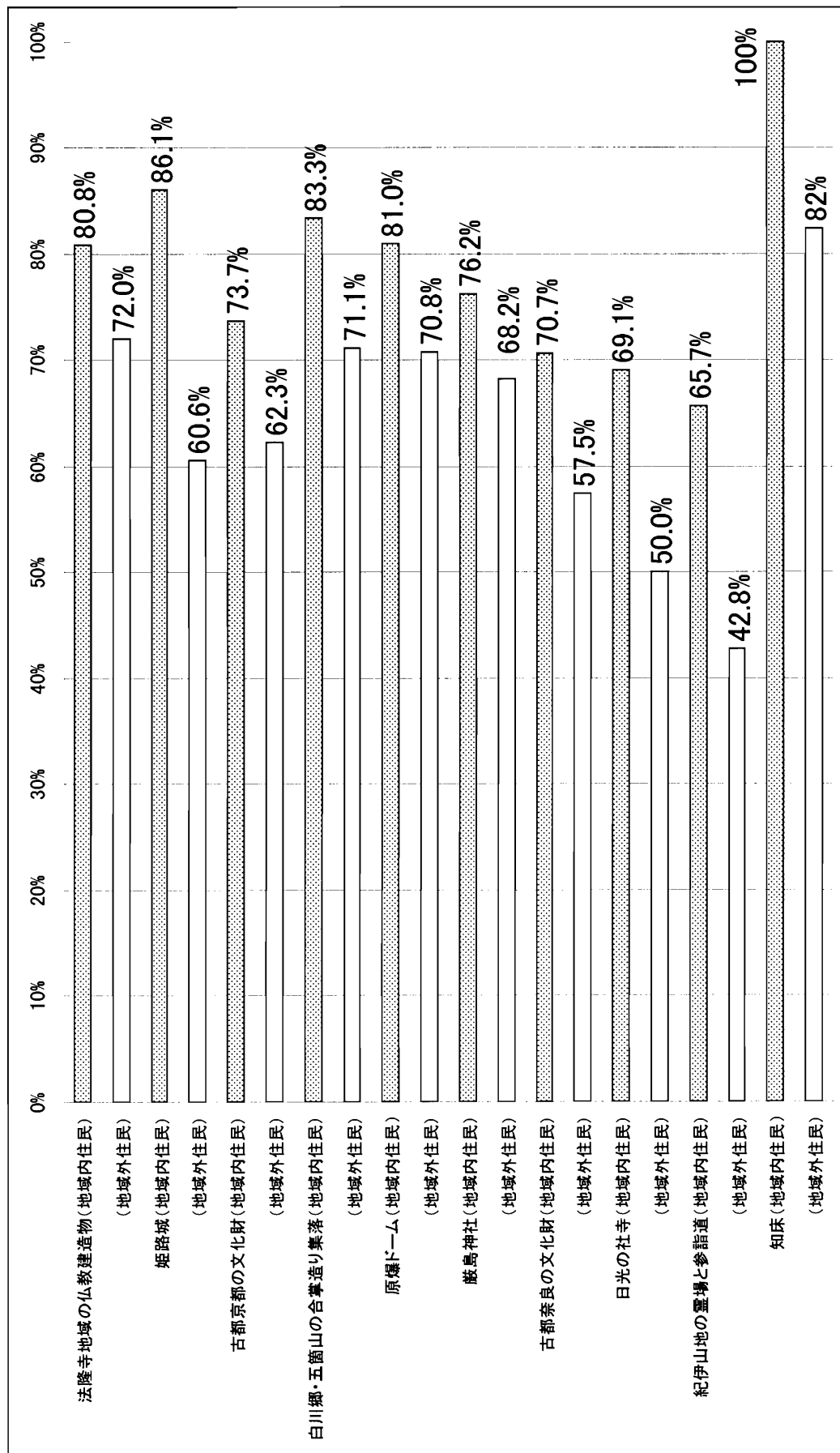


図3：世界遺産の知名度比較（地域内住民と地域外住民）

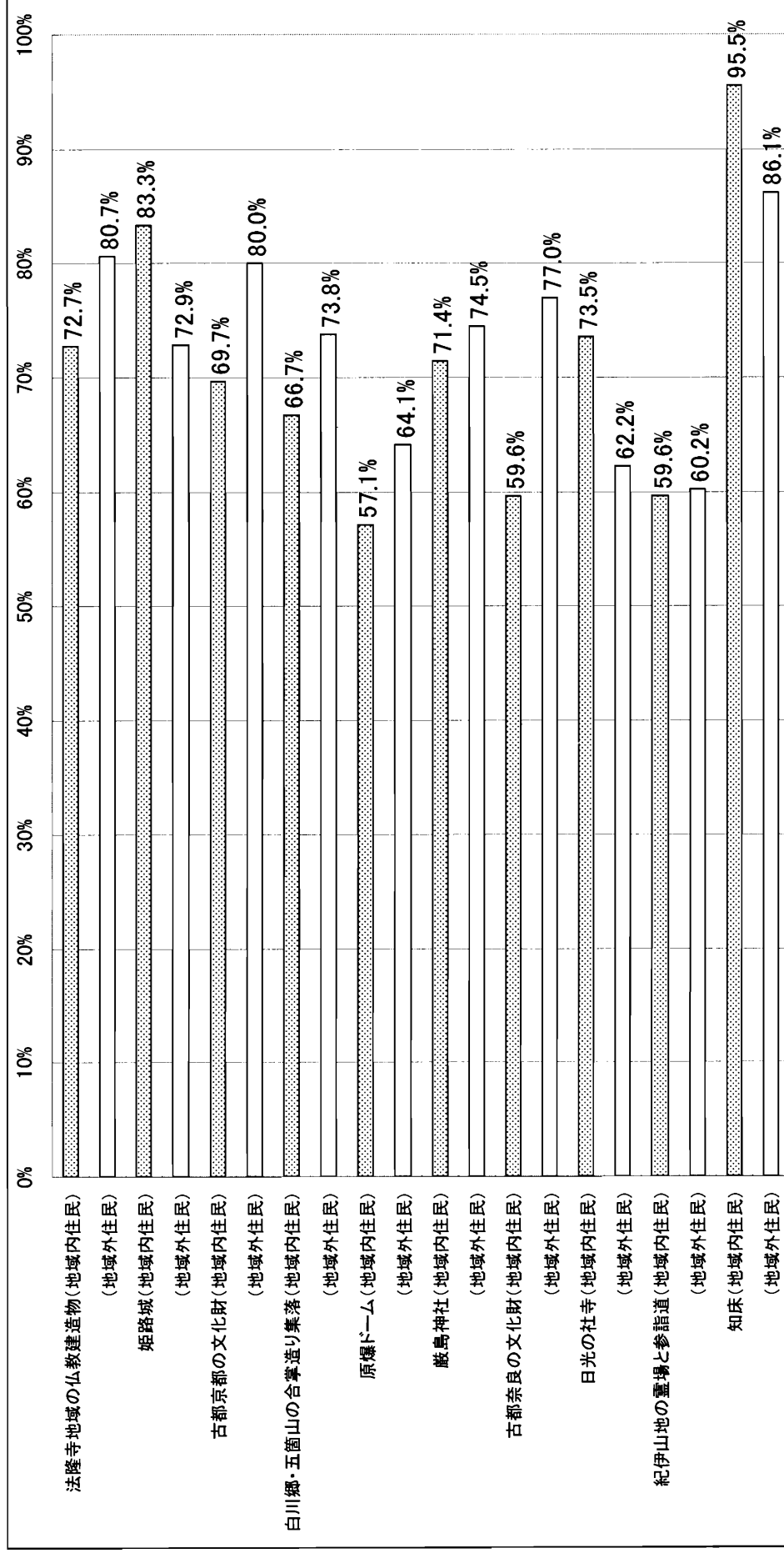


図4：世界遺産の魅力度比較（地域内住民と地域外住民）

3.3. 白神山地の知名度と魅力度の関係

つづいて、白神山地について、知名度と魅力度の関係をみていこう。図5と図6は、日本の全ての世界遺産について、それぞれ知名度と魅力度を相対比較したものである。図6に関しては、アンケートにおける質問票の構成上、図中には「白神山地」は含まれていないが、その理由は後述する。

図5によると、知名度の1位が鹿児島県の屋久島で、2位が北海道の知床である。これらは、いずれも世界自然遺産である。しかしながら、現在3ヵ所ある自然遺産のひとつである白神山地は9位と低位である。

図6は、魅力度について白神山地を含まない結果を示している。これらの全ては「機会があれば訪れてみたい」という設問に対して「はい」と「いいえ」の二者択一の回答としたが、白神山地に関しては、別途に質問項目を設定して「はい」、「どちらとも言えない」、「いいえ」の三者択一の回答としたため、同一の図中に示すことができなかった。

ここで、白神山地の魅力度に関して「訪れてみたい」の回答だけをカウントすると、その比率は76%になるため、図6の魅力度比較では「古都京都の文化財（京都市、宇治市、大津市）」に次いで5位にランクされる。また、「どちらとも言えない」も「はい」としてカウントすると、その比率は97%にもなるため、1位にランクされることになる。

以上の結果より、白神山地は他の世界遺産と比較して知名度は低いが、魅力度は高いことを意味することになる。言い換えれば、白神山地は「あまり知らないが、行ってみたいところ」と概して認識されているのである。このことは、白神山地の魅力や観光資源に関して情報発信を強化すれば、さらに観光需要が増えるか、もしくは魅力的な観光地なのに情報発信が欠乏していることを示唆するものであろう。

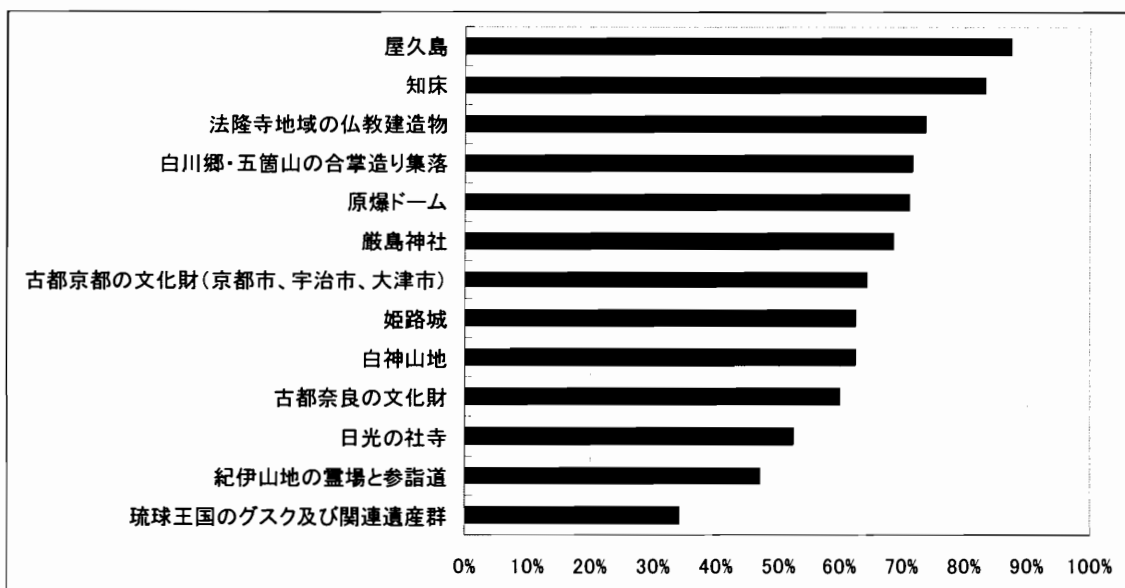


図5：知名度の相対比較

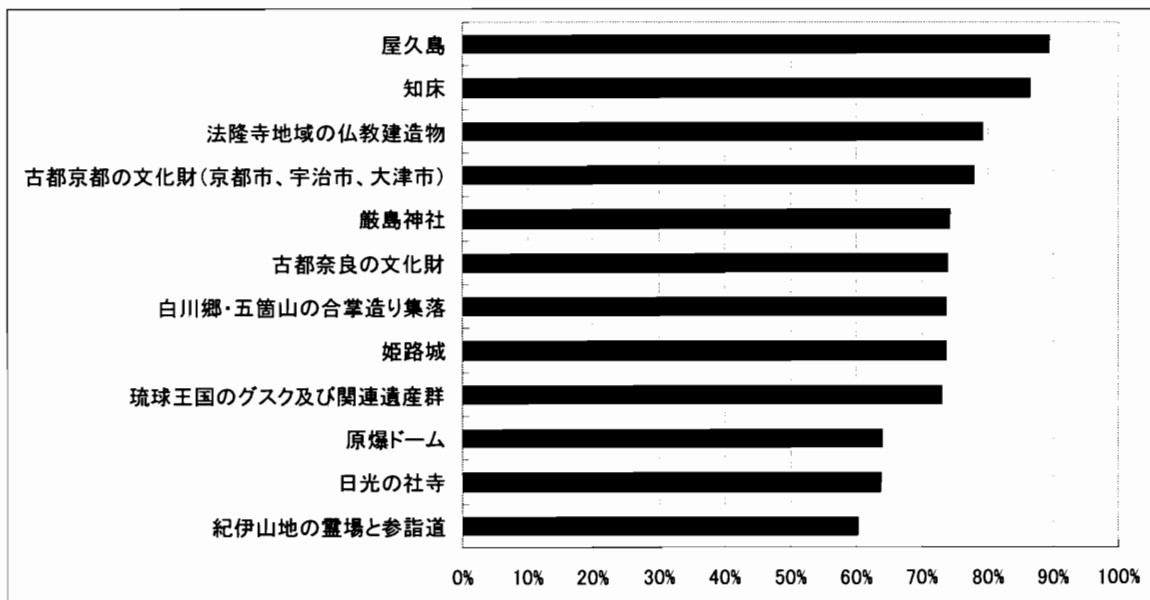


図6：魅力度の相対比較（白神山地を含まず）

4. 地域コミュニティサイトの有効性

それでは、このように情報発信が不十分であるために、その魅力を十分に伝えきれていない白神山地のような世界遺産に対して、どのような方策を講じればよいのであろうか。

本稿では、とりわけ地域内住民と地域外住民の情報の差異を埋めるための情報発信ツールとして、地域の情報を収集した web サイト「地域コミュニティサイト」を提案し、これによる観光情報の発信について、その有効性を検討する。

4.1. 地域コミュニティサイトに関するアンケート調査

2005年9月、地域コミュニティサイトの有効性を調査するため、秋田県能代市のインターネット・サービス・プロバイダ「白神ねっと」の全会員1567名に対して記名式の郵送アンケートを実施した。集計数は268件（回収率：約17%）を得た。なお、回答率を上げるために、抽選で懸賞をつけている。アンケート票については、巻末付録Bを参照されたい。

4.2. 地域コミュニティサイトとは

「地域サイトネットワーク³⁾」によると、「地域サイト」は下記のように定義されている。

- (1) 特定の限られた地域の情報を扱っているサイトであること
- (2) 地域の大きさ・範囲は問わない
 - 対象としている地域の大きさや範囲は、全国区でなければ特に問わない。
 - 県内・市内、町・商店街などのエリアを対象としたもの。
- (3) 情報の向き（IN・OUT）は問わない
 - 地域内の住民に向けた情報（IN）が中心の地域サイト、地域外の人に向けた情報（OUT）が中心のサイト、どちらでもOK。

3) <http://www.lisnet.jp/>

(4) 地域内の人を元気にする目的を持ったサイト

本稿では、こうした特定地域の情報を集積した web サイトを「地域コミュニティサイト」と呼ぶことにする。

4.3. 地域コミュニティサイトの一例

地域コミュニティサイトの一例として、「長岡市三島地域コミュニティサイト⁴⁾」を紹介する。長岡市は、人口ベースで見ると新潟県第2位の都市である⁵⁾。

図7は、長岡市三島地域コミュニティサイトのトップページである。このサイトに掲載されている情報を整理すると、下記のとおりとなる。

- (1) 生活情報：日常生活のお役立ち情報、緊急時（地震など）の対応マニュアル天気
- (2) 観光情報：史跡探訪（寺社や遺跡）、地域の伝説紹介、レジャー・スポーツ施設の紹介、お勧めの観光コースの紹介、特産品や祭りの案内
- (3) 児童向け：保育園や小学校のサイトへのリンク
- (4) 公共施設の予約状況の案内
- (5) イベント情報
- (6) 地域の風土や歴史の紹介
- (7) 掲示板：投稿者に対する制限なし（誰でも書き込みが可能）
- (8) リンク集：主に行政や医療関係

こうした構成をみると、このサイトは地域住民のための生活情報から観光情報まで、地域を知るうえでの考えうる限りの情報を掲載した「ワンストップサイト」という位置づけであると考えられる。

また、このサイトは長岡市役所が管理しているもので、一切の商用バナーは存在しない。いわば、純粋に地域コミュニティの振興を目的としたものといえるであろう。


4) <http://www.town.mishima.niigata.jp/life/index.cfm>

5) 市町村自治研究会（2005）、204 ページ。

>> 長岡市のサイト



長岡市三島地域コミュニティサイト
MISHIMA COMMUNITY



新潟県天然記念物指定 蓮花寺大杉

生活情報 観光情報 みしまキッズ 施設予約 イベント情報 三島の歴史 掲示板 ホームページ リンク集

三島地域の生活情報

平成17年4月1日、三島町は長岡市と合併し、新たなスタートを切りました。
平成17年4月1日、長岡市、中之島町、越路町、山古志村、小国町そして三島町の6市町村が合併し、新・長岡市となりました。今までの地域文化や伝統を引き継ぎ、互いに地域の発展に貢献しあうまちづくりを目指し、今新しいスタートをきりました。

合併に関する情報はこちら 長岡市のホームページはこちら

◆ お知らせ

- ・お祭り
- ・三島支所取組業務
- ・日常生活お役立ち情報
- ・緊急時の対応
- ・三島地域の天気

⇒ 新着情報

<p>2006/02/22</p> <p>重要 みしま西山連峰登山マラソン大会参加者募集</p> <hr/> <p>2006/02/21</p> <p>重要 「ふしぎ？探検！むかしの三島」の開催中止</p> <hr/> <p>2006/02/08</p> <p>重要 ゆったり太極拳(全4回)</p> <hr/> <p>2006/01/26</p> <p>重要 お気軽だれでもパソコン相談室2月の開催について</p>	<p>ACCESS 0286737</p> <p>担当:教育委員会三島分室</p> <p>担当:教育委員会三島分室</p> <p>担当:社会教育指導員</p> <p>担当:教育委員会三島分室</p> <p style="text-align: right;">お知らせ一覧</p>
--	--

長岡市

▲長岡市のホームページ

長岡市役所三島支所

▲長岡市役所三島支所のページ

AO

市町村番号

▲長岡市の合併サイト

新潟中越地震

長岡市地震情報

このバナーをクリックしてください

▲長岡市地震情報サイト

◆ サイトマップ

長岡市役所三島支所 〒940-2392 新潟県長岡市上岩井1261-1
TEL:0258-42-2221(代表) FAX:0258-42-3534 Eメール:mam-chiik.i@city.nagaoka.lg.jp

図7：長岡市三島地域コミュニティサイト

4.4. ビジネスモデルとしての地域コミュニティサイト運営

他方で、地元の企業に対して商用バナーもしくは広告スペースを提供することで、サイトの管理運営者に広告収入がもたらされるビジネスモデルが提唱されている。

例えば、(有)ジーウェイブ⁶⁾という企業では、地域コミュニティサイトの設計事業者として以下のコンセプトを提案している。

- (1) ほとんどの地域社会が抱えている、「商店の衰退」、「治安の悪化」、「高齢化」などの様々な問題を解決して、住みやすく活発な地域コミュニティを作っていくには、コミュニティを構成する『住民』『行政』『地元企業』および『各種任意団体』の、密な情報交換・双方向のコミュニケーションの実現が大切。

6) <http://www.ziwave.com/co/profile.html>

(2) 地域コミュニティサイトのコンセプトは、『住民』に対して、地域生活に欠かせない情報（地域情報、行政情報、産業情報など）や、双方向のコミュニケーションスペースを提供し、『地元企業』には、宣伝・広告のスペースを提供して、その広告収入でサイトを運営するビジネスモデルを作ること。

以上のように、地域コミュニティサイトは商用目的および非商用目的の双方において事例が存在している。

5. アンケート結果による分析

5.1. 地域コミュニティサイトの有効性

それでは、地域コミュニティサイトに関するアンケート調査の結果にもとづき、地域コミュニティサイトの有効性について検討しよう。

図8は、地域コミュニティサイトの有効性(Q10)に関する回答結果である。全体の79.5%が「非常に有益」もしくは「やや有益」と回答しており、こうしたサイトの有効性は非常に認識の高いものとなっている。

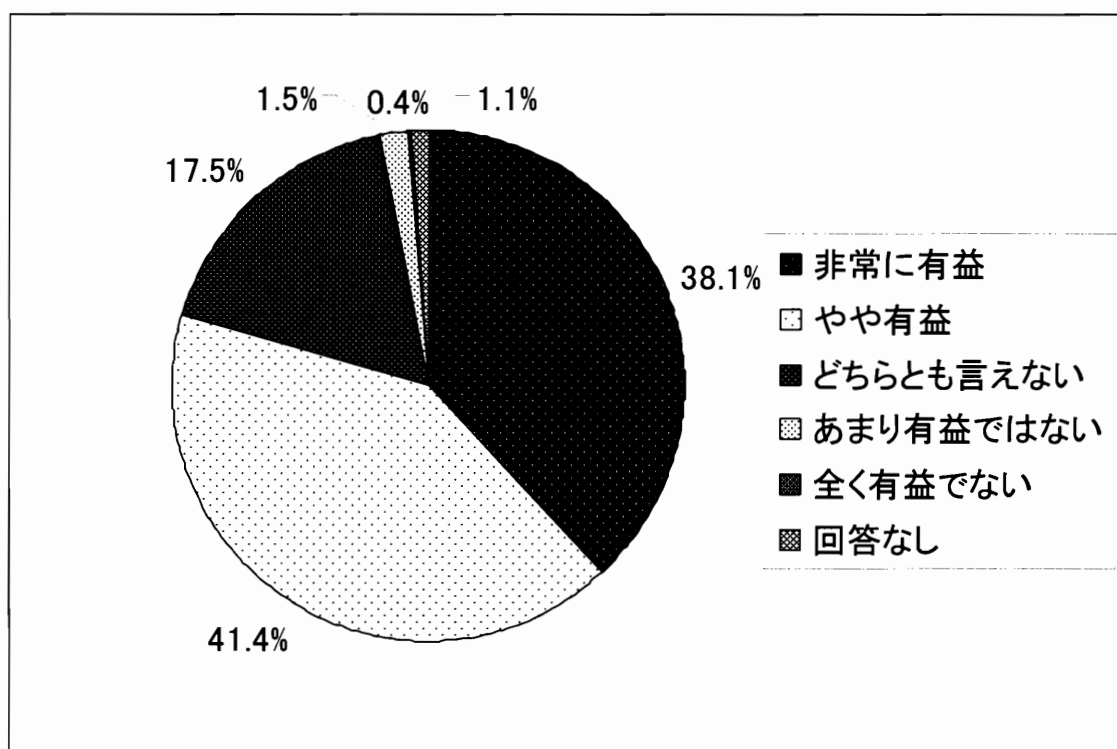


図8：地域コミュニティサイトの有効性（単数回答）

5.2. 地域コミュニティサイトの掲載情報

図9は、地域コミュニティサイトに掲載を希望する情報（Q11）に関する回答結果を示したものである。「地域の商店街に関する情報」、「お祭りなどの地域のイベント情報」、「地域情報を交換できる掲示板」が相対的に高い回答数を示している。いずれも、地域に密着した情報に対する要望の高いことが明らかとなっている。

一方で、「白神山地などの観光情報」に対する回答数は相対的に低い。前述したように、このアンケートは秋田県能代市のインターネット・サービス・プロバイダ「白神ねっと」全会員に対して実施したものである。いわば「地元の人」による回答結果であるが、地元の居住者にとっては、地域コミュニティサイトにおける掲載情報としては、地域の観光情報の優先度は相対的に低く、地域コミュニティサイトを他地域からの来訪者（観光客など）がみるという認識は、まだまだ低いものと考えられる。

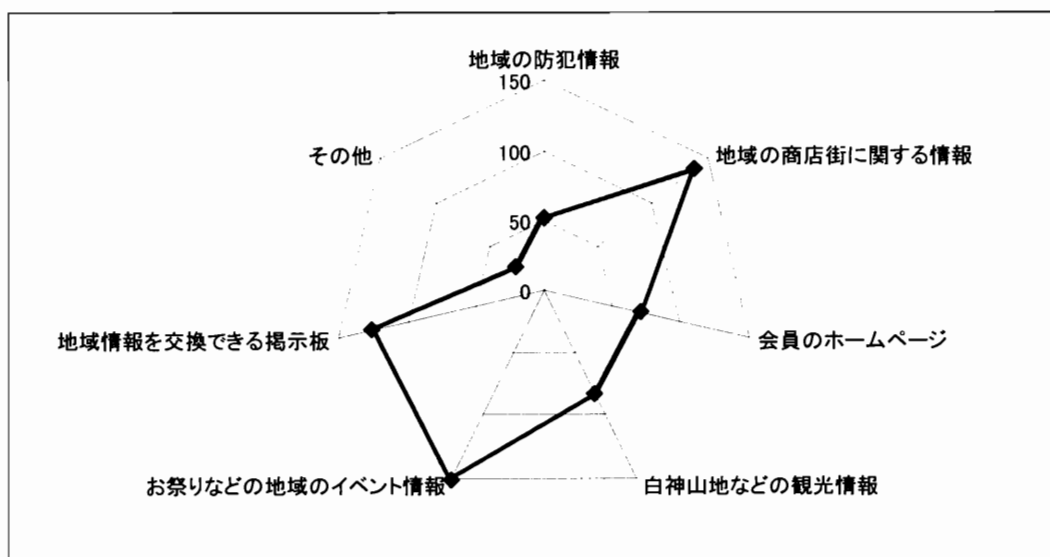


図9：地域コミュニティサイトに掲載を希望する情報（無制限の複数回答）

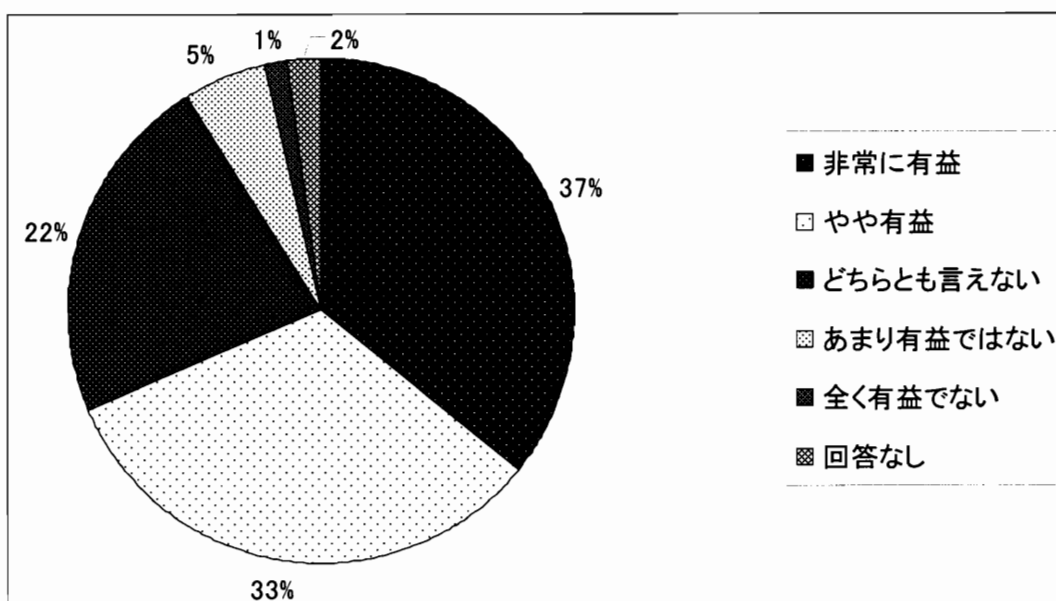


図10：地域コミュニティサイトに対する白神山地の情報掲載の意義（単数回答）

5.3. 「世界遺産・白神山地」の情報掲載の是非

それでは、地域の観光資源であり世界遺産にも登録されている白神山地の情報を掲載すること自体に関する評価はどうであろうか。図 10 は、白神ねっこの地域コミュニティサイトに白神山地の情報を掲載することについて、どう思うか質問した結果である。この図によると、白神山地の情報を地域コミュニティサイトに掲載することに約 70%が有益と回答している。

その一方で、白神山地を地域コミュニティサイトに掲載する是非について「どちらともいえない」と評価しているユーザは約 22%を占めている。その理由をみると、「地域の経済発展のために白神山地を売り出したい」という気持ちと、「世界遺産として保護するためには無造作に観光客を誘致すべきでない」という観光振興と自然保護が対立する狭間で葛藤する意見が大勢を占めている。

日本政策投資銀行地域企画チーム（2004）によると、2004 年に世界文化遺産に登録された熊野古道（登録名は「紀伊山地の霊場と参詣道」）では、世界遺産登録による生産波及効果が 372 億 5000 万円、雇用創出効果が 4625 人（近畿経済産業局の試算）とされている。このように、世界遺産に登録されることで巨額の経済波及効果をもたらされる一方で、観光を優先するあまりに自然遺産の保全が後回しにされていることが指摘されている⁷⁾。

したがって、地域の観光資源に対する情報発信においては、その利用と保護という相反する意識が地域住民の間でせめぎあうため、こうした葛藤のなかで効果的な観光資源や観光施設の情報発信をしていくことが重要になるであろう。白神山地の地域コミュニティサイトにおける情報掲載に際しては、単なる観光情報の掲載のみならず、世界遺産として保護していく取り組みなどの情報も併せて掲載することが有効であろう。

それでは、そもそも地域の人々は白神山地に対して、どのような印象を抱いているのであろうか。アンケートの Q13 の結果を図示したのが、図 11～図 13 である。

図 11 は、白神山地が「全国的に有名」かどうかに対する回答結果である。約 79%が全国的に有名であると回答しており、これは世界遺産として登録されていることが影響しているものと考えられる。

図 12 は、白神山地が「魅力的な観光地」かどうかに対する回答結果である。「そう思う」が約 51%であるのに対して、「どちらとも言えない」と「そう思わない」が約 49%を占めている。また、図 13 は、白神山地を「地域ブランドとして、もっと対外的に売り込むべき」かどうかに対する回答結果であるが、「そう思う」が約 52%であるのに対して、「どちらとも言えない」と「そう思わない」が約 48%を占めており、図 12 と似た結果となっている。

こうした結果からみて、地域の人々は白神山地の知名度は認めるが、それが魅力的かどうかに関しては答えが二分され、その結果が地域ブランドとして売り出すべきかどうかにも影響しているものと考えられる。

7) 日本政策投資銀行地域企画チーム（2004），219～220 ページ。

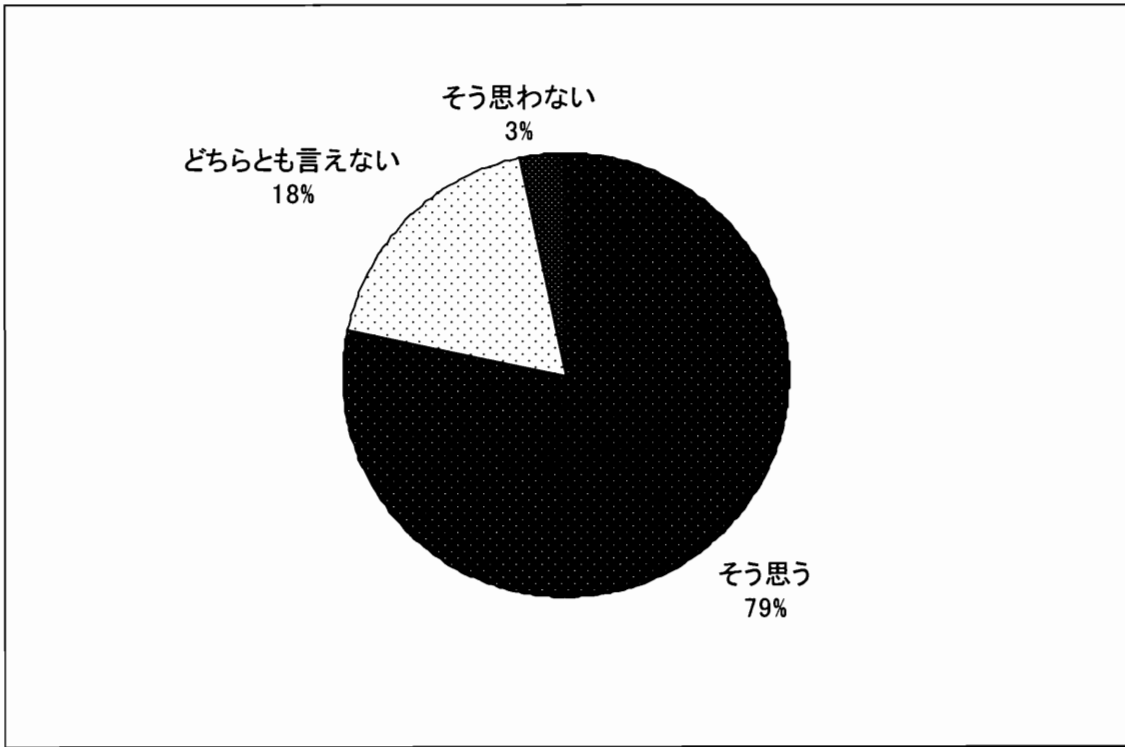


図 11 : 全国的に有名? (単数回答)

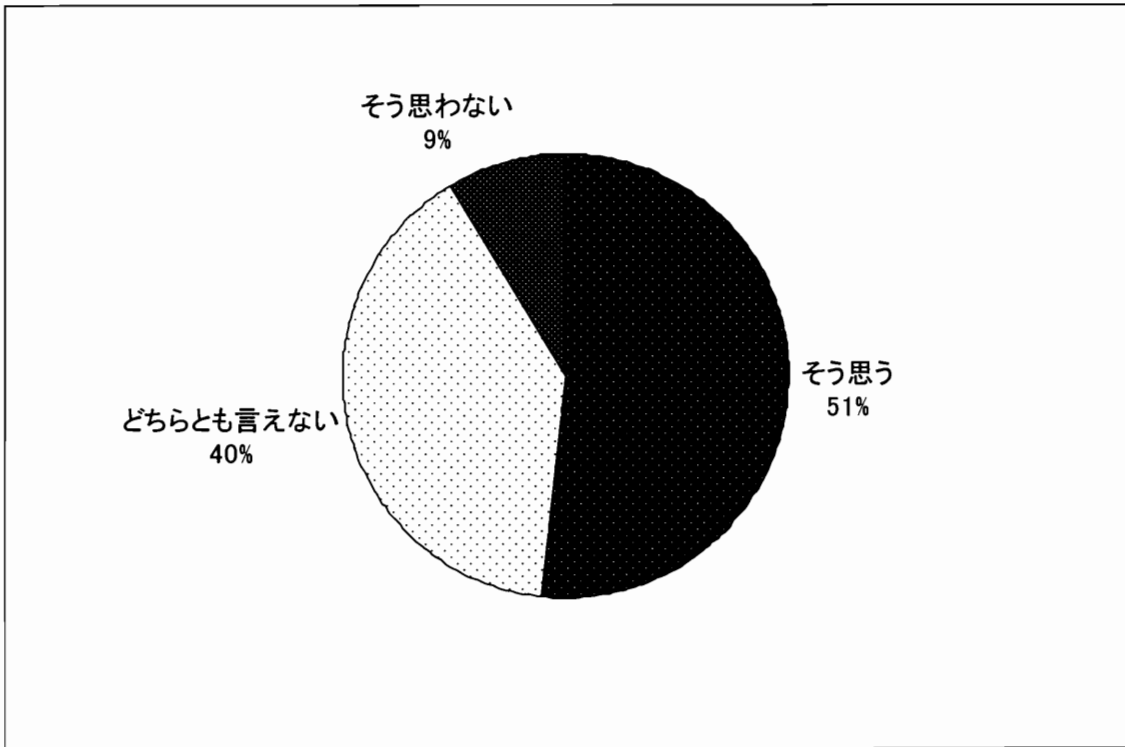


図 12 : 魅力的な観光地? (単数回答)

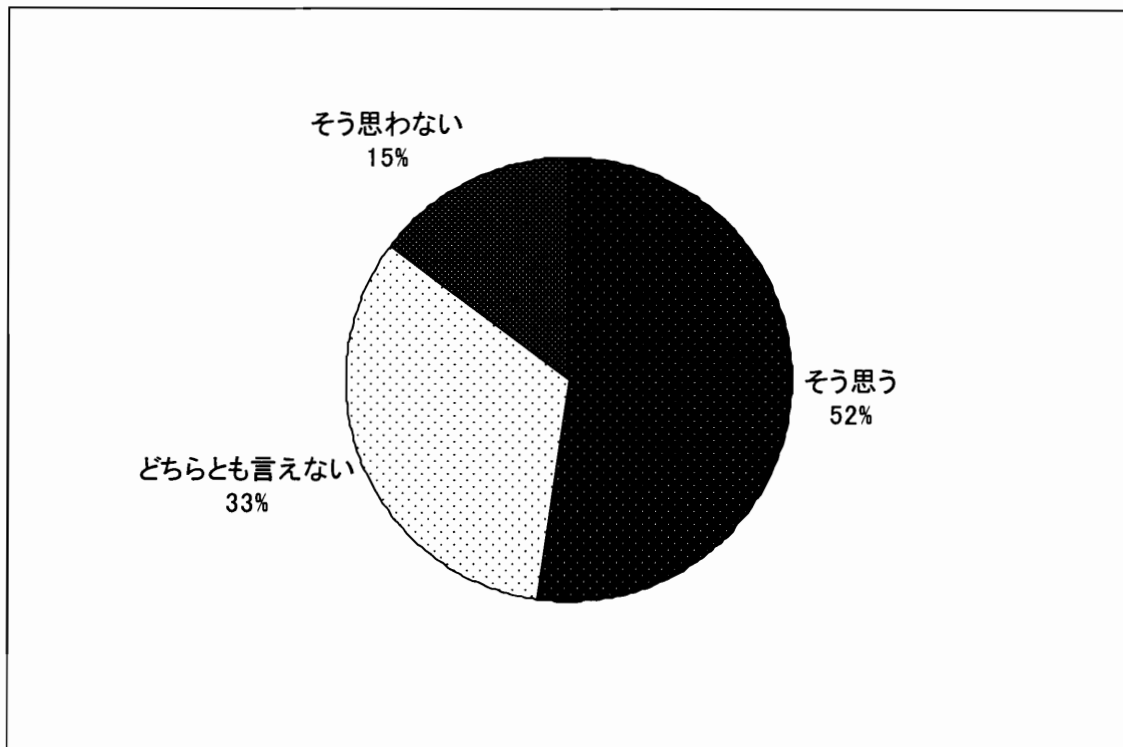


図 13：地域ブランドとして、もっと対外的に売り込むべき？（単数回答）

図 4 の結果からみても、一般的傾向として地域の住民は、地元の観光資源に対して魅力を（地域外の住民に比較して）感じていないため、白神山地に関しても、まずは地域住民がその魅力を十分に理解しないことには、その観光情報を対外的に発信しようとは思わないはずである。

6. 結論

本稿では、2 種類のアンケート調査に基づき、地域観光政策における ICT の有用性について検討した。

日本の世界遺産に対する知名度と魅力度に関するアンケート調査によると、観光地としての魅力を十分に情報発信しきれていないものが、白神山地を含めて、いくつかみられた。

そこで、ICT を利用した情報発信ツールとして、白神山地を事例とした地域コミュニティサイトの有効性を検討したところ、地域コミュニティサイトそのものの有効性に関する認識は高いものの、白神山地を掲載することに関しては、観光資源として経済的に利用したい思惑と、環境保全の見地から保護すべきだという思惑の葛藤が明らかとなった。このことに関しては、白神山地の情報を地域コミュニティサイトに掲載するに際しては、単なる観光情報の掲載のみならず、世界遺産として保護していく取り組みなどの情報も併せて掲載することが有効と考えられる。

さらに、白神山地に対する地域住民の印象に係わるアンケート調査によれば、そもそも地域の人々が地元の観光資源を魅力的に感じないことには、それを対外的に情報発信する動機は生まれなことが明らかとなり、観光資源を全国的にアピールするためには、まずは地域住民にその魅力をアピールしていくことが肝要であることが示唆される。

地域コミュニティサイトは、その地域の全ての情報をワンストップサイトとして集積し

ているところに意義がある。そうであるならば、地域の観光情報も当然コンテンツに含まれるべきであり、地域の人々のための地域コミュニティサイトであるばかりでなく、同時に地域外からの来訪者にとってのサイトでもあるべきことを意識して、真の意味で地域の情報が全て網羅されたサイト構築をすることが重要であろう。

巻末付録A：世界遺産に関するアンケート

◆ webアンケート ◆

世界遺産「白神山地」の地域ブランド化に関する調査研究

お名前: _____

性別:(必須) 男 女

ご年齢:(必須)
(半角英数字で記入) _____ 歳

ご職業:(必須)

学生 会社員 公務員 農林水産業 自営業
自由業 パート主婦 専業主婦 無職
その他 _____

住所:
(必須 ×市町村までで結構です) _____

Eメールアドレス:(必須)
(半角英数字で記入) _____

↑当選者には選んでメールで郵送先をお尋ねしますので、必ず正確にご記入下さい

全ての項目にご入力ください

Q1

あなたは「白神ねっと」の会員ですか？

- はい。
- いいえ。→あなたが契約しているプロバイダ名 _____

Q2. (A)白神山地について

秋田県北西部から青森県南西部にまたがる白神山地は、その一部が1993年12月にユネスコの世界自然遺産に登録されました。あなたは、白神山地を知っていましたか？(1つ選ぶ)

- 世界遺産に登録される以前から、どこにあるかも含めて良く知っていた。
- 世界遺産に登録される以前から名前を知っていたが、どこにあるかは知らなかった。
- 世界遺産に登録されたことで初めて知った(場所も知っている)。
- 世界遺産に登録されたことで初めて知った(場所は知らない)。
- このサイトを見るまで全くなにも知らなかった。

あなたは、白神山地は全国的に有名だと思いますか？

- そう思う。 どちらとも言えない。 そう思わない。

あなたは、白神山地を魅力的な観光地だと思いますか？

- そう思う。 どちらとも言えない。 そう思わない。

あなたは、白神山地を訪れたことがありますか？

- ある。
- ない。

→あるを選じた方は、その際に、観光や特産品販売の情報を得るためにインターネットのサイトを参考にしましたか？

- 参考にした。(サイトの名称: _____)
- 参考にしなかった。

あなたは、白神山地を機会があれば訪れてみたいと思いますか？
(すでに訪れたことのある方は、「また訪れたい」と思いますか？)

- はい。 どちらとも言えない。 いいえ。

あなたは、白神山地の特産品を何かひとつでも知っていますか？

- 知っている。(具体的に: _____)
- 知らない。

あなたは、秋田県や青森県などの地元市町村が「白神山地」を地域ブランドとして、もっと対外的に売り込むべきだと思いますか？

- そう思う。 どちらとも言えない。 そう思わない。

(B)世界遺産について

あなたは、白神山地が世界遺産に登録されていることを知っていましたか？

- 知っていた。 知らなかった。

あなたは、世界遺産に登録されている日本の観光地であれば、どこであれ一度は訪れてみたいですか？

- はい。 いいえ。 わからない。

白神山地以外にも、日本では以下の地域や文化財が世界遺産に登録されています(2005年9月現在)。これらについて、あなたは世界遺産に登録されていることを知っていましたか？

また、機会があれば訪れてみたいと思いますか？

(すでに訪れたことのある方は、「また訪れたい」と思いますか？)

	世界遺産だと知っている	機会があれば訪れてみたい
法隆寺地域の仏教建造物	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
姫路城	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
屋久島	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
古都京都の文化財(京都市、宇治市、大津市)	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
白川郷・五箇山の合掌造り集落	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
原爆ドーム	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
厳島神社	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
古都奈良の文化財	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
日光の社寺	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
琉球王国のグスク及び関連遺産群	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
紀伊山地の霊場と参詣道	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
知床	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ

Q3.

現在、白神ねっとでは、会員を中心に地域住民の暮らしに役立つ情報を「地域コミュニティサイト」として立ち上げようと考えています。こうした地域コミュニティサイトに白神山地に関する情報を掲載して「世界遺産・白神山地」を広くアピールしていこうと思っています。こうした取り組みについて、あなたの考えと最も近いものを一つ選んで下さい。

- 情報発信するならば、環境保護ではなく観光振興を目的とするもの(登山ガイドや特産品情報)に限定すべきである。
- 情報発信するならば、観光振興ではなく環境保護をテーマにしたものに限定すべきである。
- 情報発信するならば、観光振興と環境保護の双方について掲載すべきである。
- むやみに情報発信をすると、観光客が多く訪れて白神山地の自然環境が損なわれるので、情報発信は控えるべきである。
- 地域発展のためには、白神山地の自然環境が多少犠牲になっても、あらゆる情報を掲載して観光客誘致を活性化すべきである。
- 地域コミュニティサイトには地域住民のための情報のみ必要であり、白神山地の情報は必要無い。
- その他。

アンケートを送る

◆ 質 問 票 ◆

地域プロバイダの地域密着戦略と地域コミュニティサイトに関する調査研究

本調査は「白神ねっと」が「関西大学ソシオネットワーク戦略研究センター」に対する委託調査の一環として実施するものです。

ご回答いただいた内容は全て統計的に処理するため、個人情報をはじめ一切がそのまま公表されることはありませんので、ご安心ください。

私どもの趣旨をご理解のうえ、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

※ご回答の締切日：平成17年9月20日（消印有効）

ご回答いただいた皆さまから無任な感謝のうえ、10名様は5,000円、50名様は1,000円のVISAギフトカードを差し上げます。



※10月1日に白神ホームページにて会員番号当選発表

※商品の発送に必要ですので、ご記入漏れのないよう、お願いいたします。

お名前【 _____ 】 性別【 男性・女性 】 ご年齢【 _____ 歳】

ご職業【 学生・会社員・公務員・農林水産業・自営業・自由業・パート主婦・専業主婦・無職・
その他（ _____ ）】

住 所【 _____ 】

Eメールアドレス【 _____ @shirakami.or.jp 】

< I > 地域プロバイダ（ネット接続事業者）に関する意識調査

Q1. あなたが「白神インターネット」を選んだ理由は、なんですか？（1つ選ぶ）

- ① 行政や地域が協力して立ち上げたから
- ② 知人に勧められたから
- ③ 利用料金が安いから
- ④ サポート体制が地元にあるから
- ⑤ 提供しているサービスやコンテンツ（ホームページの内容）が豊富だから
- ⑥ たまたま宣伝広告が目についたから
- ⑦ 地域での情報収集や提供に適しているから
- ⑧ 地元のプロバイダであり、なんとなく親しみがもてるから
- ⑨ 特になし
- ⑩ その他（ _____ ）

Q2. 「白神ねっと」の以下の項目について、あなたはどのように感じますか？

- ・行政や地域が運営に協力的である
 - ① そう思う
 - ② どちらとも言えない
 - ③ そう思わない
- ・利用料金が安い
 - ① そう思う
 - ② どちらとも言えない
 - ③ そう思わない
- ・サポート体制が地元であり安心できる
 - ① そう思う
 - ② どちらとも言えない
 - ③ そう思わない

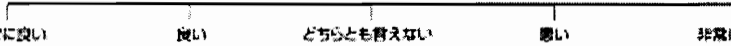
＜Ⅱ＞ 地域コミュニティサイトに関する調査と地域ブランドに関する予備調査

Q6. あなたは平均すると1日に何時間インターネットに接続しますか？ 平日と休日に分けてお答えください。

平日() 時間) 休日() 時間)

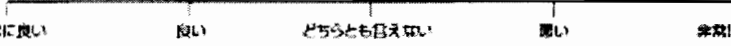
Q7. 現在「白神ねっと」が実施している以下の地域活動について、あなたをご存知ですか？ もしご存知ならば、それらの活動について、どう思われますか？

・教育や防犯などの無料ホームページづくり、無料IT講習、IT講演会などの地域活動

① 知っている  非常に良い 良い どちらとも言えない 悪い 非常に悪い

② 知らない

・ITプラザでのIT体験などのまちづくり活動、ITを活用した地域産業振興企画提案

① 知っている  非常に良い 良い どちらとも言えない 悪い 非常に悪い

② 知らない

Q8. 「白神ねっと」をはじめとする地域プロバイダの多くは、地域に密着した活動をしようと努力しています。次の返答肢のなかから、あなたが最もそう思うものを1つ選んでください。また、その理由もあわせてお答えください。

① 地域の学校やまちづくりの無料ホームページの作成、IT入門教室の開催など、地域住民のための活動が最も重要である。

理由()

② ホームページからの観光情報の発信など、地域外の観光客を呼び込むことによる地域活性化のための活動が最も重要である。

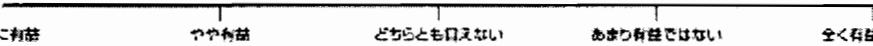
理由()

③ 地域活動は重要だが、年会費や接続料金が安ければそれで良い。

Q9. あなたは「白神ねっと」のホームページ< <http://www.shirakami.or.jp/> >をご覧になったことはありますか？

① ある ② ない

Q10. 現在、「白神ねっと」では、会員の皆様を中心とした地域に住む人々の暮らしに役立つ情報を「地域コミュニティサイト」として掲載しようと考えています。あなたは、こうした取り組みについて、どう思いますか？

 非常に有益 やや有益 どちらとも言えない あまり有益ではない 全く有益でない

また、「あまり有益でない」、「全く有益でない」とお答えになった方は、その理由もあわせてお教えてください。

[]

参考文献

榎原博之・中庭明子・竹村敏彦・横見宗樹（2006），『インターネット・サービス・プロバイダの実証分析』多賀出版。

E ジャパン協議会（2003），『e コミュニティが変える日本の未来－地域活性化と NPO－』NTT 出版。

河村誠治（2004），『観光経済学の原理と応用』九州大学出版会。

日本政策投資銀行地域企画チーム編著（2004），『実践！地域再生の経営戦略－全国 62 のケースに学ぶ“地域経営”－』金融財政事情研究会。

生活情報センター編（2005），『全国観光地観光客データブック 2005』生活情報センター。

市町村自治研究会（2005），『全国市町村要覧（平成 17 年版）』第一法規株式会社。